

米国心臓病学会学術集会でポスター発表を行いました

私は 2015 年 11 月 7～11 日にアメリカ合衆国フロリダ州オーランドで開催された AHA Scientific Sessions 2015（米国心臓病学会学術集会 2015）でポスター発表を行いました。本会は心臓中心の循環器疾患を研究対象とした世界的にも大きな学会である American Heart Association（米国心臓病学会）が年に 1 度開催する学術集会です。

会場はパネルディスカッションなどを行うメインホール、ポスター発表を行うポスターホール、企業ブースが並ぶ展示ホールに分かれており、連日 1000 題近く、会期中に 3500 題を超える世界中から集まった演題の発表が行われました。

私は「PRMT5/MEP50 複合体は培養心筋細胞において p300 のアセチル基転移活性と心肥大関連遺伝子の転写を抑制する」という題目で発表しました。内容は、タンパク質メチル基転移酵素である PRMT5 とその働きを高める MEP50 の複合体が、心肥大を誘導する細胞内情報伝達経路の p300/GATA4 経路に作用して心肥大を抑制することを培養細胞で確認した、というものです。発表は夕方遅い時間だったにもかかわらず、多くの研究者の方に見に来てもらい、質問して頂きました。英語でのコミュニケーションは、相手の話すスピードが非常に早く、聞き取りや説明に苦労しました。発表準備はしていましたが、専門的な単語が多く、思っていることを上手く英語にできず、もどかしい場面が多くありました。

今回参加して、海外の研究者の熱意に多く触れ、私もより一層頑張らねばと思いました。



薬食生命科学総合学府 薬学専攻 分子病態学教室
博士課程 1 年 宮崎 雄輔

関連リンク: 米国心臓病学会 <http://www.heart.org/HEARTORG/>